

令和4年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:令和4年4月1日～令和5年3月31日

施設名	大和スポーツセンター、草柳庭球場、桜森スポーツ広場、下福田野球場、 下福田スポーツ広場
指定管理者	公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

●施設の管理運営に関する主な業務実施状況

(1) 窓口業務

- ①施設保険の受付：0件
- ②苦情、要望等への対応：苦情・要望 59件

(2) スケジュール管理業務

- ①スケジュール会議の開催（※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事前調整実施）
屋外施設：事前調整のみで完了。 屋内施設：事前調整のみで完了。
- ②施設予約の抽選：4/1(金) 5/1(日) 6/1(水) 7/1(金) 8/1(月) 9/1(木)
10/1(土) 11/1(火) 12/1(木) 1/1(日) 2/1(水) 3/1(水)

(3) 経理業務

- ①利用料金の収入・還付実績の作成
- ②収支決算書の作成

(4) 報告、統計業務

- ①施設点検チェックシート（大和市公共施設保全計画）：8/10（水）
- ②消防設備報告書：3/10(金)提出
- ③月報：前月分の状況を毎月15日までに提出

(5) 情報提供業務

- ①ホームページの管理運営：財団情報サイト「やまとナビ」日々更新
- ②情報誌の作成：財団情報誌「とりころーる大和」隔月発行
- ③新聞、雑誌等の提供：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため提供せず。

(6) その他の業務（日常業務）

- ①大和スポーツセンター清掃の日：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ②大和スポーツセンター消防訓練：5/25(水) 11/17(木)
- ③ドクターヘリの対応：1/18(水)
- ④救急車の要請：11件
- ⑤盗難、事故等の対応：盗難1件、不審者1件（現場対応、警察への通報、事後対応）
- ⑥補修業務：15件（施設、器具等の修理など）

(7) 委託業務実施状況

施設名	業務内容	回数等
大和スポーツセンター 体育会館	日常清掃業務	年間
	設備管理業務	年間
	警備業務	年間
	床面定期清掃業務	月1回
	窓ガラス清掃業務	年3回
	衛生害虫駆除	年2回
	貯水槽清掃業務	年1回
	給水ポンプ点検	年1回
	水質検査(10項目)	年1回
	水質検査(15項目)	年1回
	冷温水発生器保守点検	年4回
	AHU	年4回
	FCU	年4回
	フィルター除塵装置清掃	年4回
	送排風機点検	年4回
	空調用ポンプ点検	年4回
	圧力容器点検	年1回
	給湯設備保守点検	年1回
	消防設備保守点検(体育会館・競技場)	年2回
	競技表示システム保守点検業務	年1回
	体育器具保守点検業務(トレーニング機器)	月1回
	体育器具保守点検業務(体育器具)	年1回
	夜間警備業務(体育会館・みなみ風)	年間
	自動ドア保守点検業務	年3回
	トイレ消臭設備等保守点検業務	年6回
	放送設備保守点検業務	年2回
	移動観覧席保守点検業務	年1回
	エレベータ保守点検業務	月1回
	トレーニング室カーペット清掃業務	年1回
	空調自動制御設備保守点検業務	年1回
資源分別回収運搬処分業務	月1回	
みなみ風冷蔵機器保守点検業務	年3回	

大和スポーツセンター 競技場	管理業務	年間
	夜間管理業務	年間
	夜間警備業務	年間
	芝生維持管理業務	年間
	機器保守点検	年 1 回
	樹木剪定業務	年 2 回
大和スポーツセンター プール	管理業務	夏季(※)
	受水槽、プール及びピット清掃業務	年 1 回(※)
	濾過装置保守点検業務	年数回(※)
草柳庭球場	管理業務	年間
	夜間管理業務	年間
桜森スポーツ広場	グラウンド整備業務	年 1 回
下福田野球場	トイレ清掃業務	随時
	グラウンド整備業務	年 1 回
	浄化槽清掃、保守点検	年 6 回
下福田スポーツ広場	芝生維持管理業務	年間
	浄化槽清掃、保守点検	年 6 回
	グラウンド整備業務	年 1 回

(※) 新型コロナウイルス感染症拡大防止によりプールの営業を中止したため、関連する委託業務は実施せず。

●施設利用状況

年間利用者数（令和 4 年度）

施設名	利用者数
スポーツセンター体育会館	220,579 人 (214,424 人)
スポーツセンター競技場	102,451 人
スポーツセンタープール	0 人
草柳庭球場	50,025 人
下福田野球場	11,786 人
桜森スポーツ広場	14,415 人
下福田スポーツ広場	17,934 人
合 計	417,190 人 (411,035 人)

※スポーツセンター体育会館の利用者数には、第 1・第 3 体育室をワクチン接種会場で使用した際の接種者数を含む。() 内は接種者数 (6,155 人) を除いた数。

【業務実施状況に関する補足説明】

- ・スポーツセンターが新型コロナウイルスワクチン集団接種会場となったことで、4月1日（金）から5月26日（木）の間、第1・第2体育室の施設利用及びワクチン接種実施日（土日曜日）のトレーニング室、会議室の施設利用を中止しました。さらに、7月4日（月）から8月4日（木）の間、第3体育室の施設利用及びワクチン接種実施日（土日曜日）の第一武道場、会議室の施設利用を中止しました。
- ・上記の状況などを含めて、新型コロナウイルス感染症の影響により、年間を通じて事業数等の減少はありましたが、施設運営にあたり消毒の徹底や感染拡大防止対策についての入念な注意喚起放送など、利用者の方々の安心・安全の確保に取り組み、コロナ禍におけるスポーツを「する」機会の提供に努めました。
- ・「みる」側面で、大和シルフィードのホームゲームの開催などに合わせて、専門知識を生かして質の高いピッチコンディションを維持しました。
- ・市から受託した「トップスポーツ観戦デー」で、大和スタジアムにて女子ソフトボール「ニトリ JD.LEAGUE」、体育館ではバレーボールのトップリーグVリーグ2部「2022-23V.LEAGUE DIVISION2 MEN」を誘致し、無料招待チケットを市内全小中学生へ配布することで、高いレベルのプレーを間近で観戦できる機会を設けました。さらに、競技場では、関東ラグビー対抗戦Aグループの日本体育大学対帝京大学の公式戦を誘致し、「みる」スポーツとして、多くの方々にスポーツ観戦の機会を提供することができました。
- ・市内の小学校全児童に向けて「スポーツやまと」を配布することで、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、市主催事業など、各団体の情報をまとめて提供するなど、各団体を「ささえる」取り組みを行いました。
- ・大和市シルフィードを身近に感じてもらえるよう体育会館内への試合や選手情報の掲示を積極的に行いました。また、大和スポーツセンター感謝DAYを3年振りに開催し、コロナ禍における地域と利用者との「つながり」を推進しました。
- ・気軽な教室参加を促す新たな試みとして、事前申し込みが不要で、申込み及び参加料支払いを当日とした単発教室（エアロビクス）を開催し、市民の運動促進へ繋がるきっかけづくりに努めました。
- ・各体育室の床面を毎日点検するなど、日頃から丁寧・慎重な施設の点検を心掛け、豪雨や暴風による雨漏りや折れ枝などの発生に対しても、長年の経験に基づいた事前対応や巡回・点検等を実施し、被害を最小限に抑えるとともに迅速な対応を図るなど、引き続き快適で安全な利用環境の提供に努めました。

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	210,000,000	人件費 (指定管理者が雇用した職員の給料、諸手当、福利厚生等の金額)	56,911,717
利用料 (条例に基づき、利用者が指定管理者に支払った利用料金)	46,805,145	施設管理費 (施設の清掃や保守点検、修繕等に支出した金額)	227,109,473
その他 (出店料、器具等使用料、教室・講習会等参加料、ワクチン接種会場設営・撤去委託料 ほか)	10,604,102	事業費 (教室や講習会等の事業に支出した金額)	3,928,032
収入計 (①)	267,409,247	支出計 (②)	287,949,222

収支決算 (①－②)	△ 20,539,975
------------	--------------

【収支決算に関する補足説明】

- ・利用料は、令和3年度決算額43,572,540円に対し、令和4年度決算額は46,805,145円で、3,232,605円の増収となりました。
増収の主な理由は、新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館期間等が令和3年度に比べて減少したものです。
- ・その他収入は、令和3年度決算額10,662,590円に対し、令和4年度決算額は10,604,102円で、58,488円の減収となりました。
全体としては僅かな減収となっていますが、内訳としては新型コロナウイルス感染症の影響により中止した教室数が減少したことに伴う教室参加料が約130万円増加した一方、ワクチン接種会場などの際の設営（撤去）委託料などの収入が約130万円減少しています。
- ・施設管理費は、令和3年度決算額200,765,734円に対し、令和4年度決算額は227,109,473円で、26,343,739円の増額となりました。
増額の主な理由は、新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館期間等が令和3年度に比べて減少したことに伴う光熱水費に係る使用量の増加に加え、特に電気・ガス代金の大幅な値上げによる増額、及び派遣社員の雇用、弓道場梁の落下防止ネット設置業務委託による委託費の増額などによるものです。
- ・事業費については、令和3年度決算額3,959,843円に対し、令和4年度決算額は3,928,032円で、31,811円の減額となりました。
自主事業の教室開催については、新型コロナウイルス感染対策による定員削減を緩和した分、令和3年度に比べ参加者は増加しましたが、教室の種類、開催回数は概ね同様であったため、事業費については、ほぼ増減はありませんでした。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は、次のとおりです。

評価にあたっては、令和5年7月12日（水）に大和市スポーツ推進審議会からの意見聴取を行います。

評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービス向上が図られたか
(平等な利用の確保) <ul style="list-style-type: none">・施設の利用許可事務については、書類及び実地調査の結果、条例等に則り適切に行われていることが確認できました。・受付体制としては1人が受付に常駐し、混雑時には全員体制で、予約・利用許可等の受付処理にスピード感を持って適切に対応していることが確認できました。・平成28年7月の利用料金改定以降、市内外で利用料金が相違する個人利用では、利用者カードで判別できる工夫をするなど、適切に対処されていることが確認できました。 (サービス向上) <ul style="list-style-type: none">・施設の管理運営に関する苦情や要望については受付表を作成し、内容や対応結果を明確にしています。対応と同時に内容の十分な検証により、利用者サービスのさらなる向上につなげることを期待します。・自主事業の開催あたっては、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続く中、一部の中止はありましたが定員を設けるなど状況にあった感染対策を講じ、コロナ禍における安全な事業開催に努め、幅広い世代の方々にスポーツする機会を最大限提供したことは評価できます。・間接的なサービス向上策として、指定管理者（財団）としての特色を活かし、花壇など敷地内に四季折々の花を植えるなど、例年緑化運動に積極的に取り組み、そのことが利用者満足度の向上に繋がっているものと評価します。・スポーツ情報誌「スポーツやまと」を市内公立小学校全校児童に配布し、市内のスポーツ情報を広く周知したことは評価できます。・新型コロナウイルス感染症の影響で制限しているサービス等については、今後の感染状況や社会の動向を注視し、緩和、再開に向けて的確な判断を行ってください。・各種規定についての的確な判断により遵守することで利用者の平等性を確保するとともに、指定管理者として、常に利用者の満足度を意識し、積極的にサービス向上に努めることを期待します。
評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
(事業、イベント、施設PR) <ul style="list-style-type: none">・市から委託した「トップスポーツ観戦デー」において、女子ソフトボール「ニトリDJ.LEAGUE」、関東大学ラグビー対抗戦Aグループ（日本体育大 vs 帝京大）、バレーボールのトップリーグVリーグ2部「2022-23V.LEAGUE DIVISION2 MEN」を誘致したことは、市スポーツ推進計画の「みる」スポーツの観点から、有効な企画であったと評価できます。・新型コロナウイルス感染症に対する感染対策を施しつつ、3年振りに「大和スポーツセンター感謝DAY」を開催して多くの参加をいただいたことは、施設のPR及び地域・利用者とのつながりを推進した事業であったと評価できます。・新たな試みとして開催した事前申し込みなしで参加できる単発教室（エアロビクス）は、気軽な参加が可能となることで、狙いとしている市民の運動促進へ繋がるきっかけとなる有効な事業として、今後、種目やレギュラー教室とのバランスを考慮しつつ継続実施されることを期待します。・実施している各種事業については、振り返りや見直しを行い必要に応じて改善を図るなど、利用者・参加者にとってより良い事業運営を期待します。

評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか

(通常の維持管理)

- ・施設の清掃や保守点検等の通常の維持管理は、書類及び実地調査の結果、仕様書等に沿って適切に行われていることが確認できました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための消毒作業の徹底や、ナショナルトレーニングセンターで発生した体育館床板の剥離による負傷事故を踏まえて、体育室の床面点検を毎日行い必要に応じた対応をしていることなど、施設利用者のための安心・安全を高めるため、施設の丁寧な点検実施は高く評価できます。
- ・スポーツセンター競技場では、芝生の専門知識を習得して適正な管理に努め、大和シルフィードホームゲーム「なでしこリーグ2部」公式戦をはじめ、関東大学ラグビー公式戦の誘致や各種イベントなどが最適な環境で開催できたことは評価できます。
- ・施設の老朽化が進行していることを踏まえ、市への的確な改善提案を行うとともに、今後も丁寧な日々の点検を継続し、なお一層の利用者の安全確保を心掛けてください。

評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他経営の規模及び能力を有しているか

(管理者としての資質)

- ・事業計画書のとおり適正に人員が配置されており、関係法令に基づく管理体制を遵守し、施設の管理を安定して行う人員・能力等を有していると評価できます。
- ・施設管理の経験豊富な職員や、体育施設管理士、スポーツプログラマーなどスポーツに関する有資格者、設備管理の有資格者、芝生管理の技術者などを適切に配置していました。
- ・他の部門（みどり・よか）の指定管理業務実績を活かした情報交換、人材育成、業務改善活動が効果的に行われており、併せて勤続年数が長く各施設を熟知している者が適所に配置され、施設を安定して適切に管理できる体制づくりに積極的に取り組んでいます。
- ・令和4年度は電気・ガス代金の値上げの影響もあり、指定管理事業単体での収支は赤字となりましたが、法人全体としては、施設の管理運営を安定的に行ううえで十分な財務状況と判断します。